



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東名

上場会社名 アイカ工業株式会社

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務統括部長 (氏名) 百々 聡

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日

平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	69,691	1.9	7,212	3.8	7,638	4.0	4,608	△13.0
27年3月期第2四半期	68,358	3.0	6,952	6.9	7,343	9.7	5,297	45.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,071百万円 (△25.6%) 27年3月期第2四半期 5,474百万円 (△19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	70.61	70.55
27年3月期第2四半期	81.57	81.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	143,237	109,780	73.6
27年3月期	147,017	107,226	70.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 105,453百万円 27年3月期 103,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
28年3月期	—	21.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	23.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	151,000	5.0	15,800	4.1	16,100	1.4	9,500	△6.3
								145.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	67,590,664 株	27年3月期	67,590,664 株
28年3月期2Q	2,302,706 株	27年3月期	2,333,601 株
28年3月期2Q	65,272,473 株	27年3月期2Q	64,941,827 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

※ 当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。  
・平成27年11月17日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が進み、企業の設備投資が増加する一方で、中国経済の減速懸念やアジア新興国での成長鈍化、欧州経済の不安要素など、海外経済の減速による下振れリスクが依然として残り、景気は先行き不透明な状況が継続しています。

国内建築市場におきましては、住宅着工は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が一巡したものの、非住宅関連につきましては、人手不足や資材の値上がりなどに伴う建設費の高騰や工事の遅れが一部顕在化し、本格的な回復には至っておりません。

このような経営環境の下、当社グループは、医療・介護施設をはじめとする非住宅市場及びリフォームなどの成長分野に対する営業活動の強化、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社及びその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高69,691百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益7,212百万円（前年同四半期比3.8%増）、経常利益7,638百万円（前年同四半期比4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,608百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内の木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、合板用・集成材用接着剤が前年を下回りましたが、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上・利益を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、橋梁などの補修・補強材「ジョリシール」、「ダイナミックレジン」が順調に推移しましたが、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や、住宅ベランダ向け防水材は苦戦したことから、低調な結果となりました。

非建築分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、電子材料が順調に推移いたしましたが、有機微粒子や自動車向け接着剤が低迷した結果、同事業全体としては前年を下回りました。

なお、昭和電工株式会社のフェノール樹脂事業を譲受けたアイカSDKフェノール株式会社については、9月1日より連結業績に組み入れております。

このような結果、売上高は37,024百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は2,515百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

#### (建装材セグメント)

建装材セグメントの主力市場である非住宅市場では、教育施設需要が振るわない中、商業施設や公共施設の新築やリニューアルに注力した結果、売上は堅調に推移いたしました。

汎用的な化粧板や化粧ボードが苦戦しましたが、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」が順調に推移いたしました。また、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」はアイテムを大幅に拡充したことで大きく売上を伸ばすことができました。また、海外においてもインド、中国、東南アジア諸国を中心に売上を伸ばすことができました。

なお、高感度なデザインを表現したメラミン化粧板の新ブランド「+Wonder（プラスワンダー）」は店舗・商業施設などの壁面やテーブルの天板などで採用され、好評をいただいております。

このような結果、売上高は15,428百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,186百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

(住器建材セグメント)

不燃化粧材「セラール」は、注力しているリフォーム・リノベーション市場において採用が増加しましたが、新築住宅向けキッチンパネル用途や、医療・介護施設、教育施設向け壁用途において苦戦したことから、前年を下回りました。

集合住宅向けのメラミン扉は堅調なマンション市場に連動して売上を伸ばすことができましたが、メラミン化粧板を曲面加工したポストフォームカウンターは前年を下回りました。

インテリア建材は、戸建住宅向けドア「マーレスⅡクラスSシリーズ」がトレンド柄を活かした意匠とサイズ対応力を評価され売上を伸ばしたものの、医療・介護施設向け機能引戸「U. D. (ユニバーサルデザイン) コンフォートシリーズ」が医療・介護施設の建築減少の影響をうけ苦戦いたしました。

このような結果、売上高は17,238百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は2,505百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ3,780百万円(2.6%)減少し、143,237百万円となりました。主な資産の増減は「現金及び預金」が1,420百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が4,258百万円減少したことなどによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ6,334百万円(15.9%)減少し、33,456百万円となりました。主な負債の増減は仕入債務(「支払手形及び買掛金」、「電子記録債務」)が3,457百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,554百万円(2.4%)増加し、109,780百万円となりました。主な増減は「親会社株主に帰属する四半期純利益」4,608百万円、剰余金の配当1,500百万円により、「利益剰余金」が3,107百万円増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント増加し、73.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成27年4月30日公表の業績予想からは変更ありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、上記の変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,220	36,640
受取手形及び売掛金	45,692	41,433
商品及び製品	5,926	5,810
仕掛品	560	640
原材料及び貯蔵品	5,021	4,896
その他	4,523	4,574
貸倒引当金	△273	△272
流動資産合計	96,670	93,723
固定資産		
有形固定資産	28,318	28,880
無形固定資産		
のれん	4,495	3,729
その他	2,126	2,130
無形固定資産合計	6,621	5,860
投資その他の資産		
その他	15,406	14,788
貸倒引当金	-	△15
投資その他の資産合計	15,406	14,772
固定資産合計	50,346	49,514
資産合計	147,017	143,237
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,400	16,077
電子記録債務	4,674	3,540
短期借入金	1,429	1,228
未払法人税等	2,566	2,262
賞与引当金	1,469	1,318
その他	6,115	4,371
流動負債合計	34,655	28,798
固定負債		
長期借入金	1,426	1,206
退職給付に係る負債	684	719
その他	3,023	2,731
固定負債合計	5,134	4,657
負債合計	39,790	33,456
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,270	13,271
利益剰余金	73,527	76,635
自己株式	△2,030	△2,004
株主資本合計	94,659	97,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,511	3,003
繰延ヘッジ損益	△8	1
為替換算調整勘定	4,845	4,472
退職給付に係る調整累計額	174	182
その他の包括利益累計額合計	8,523	7,659
新株予約権	67	36
非支配株主持分	3,976	4,290
純資産合計	107,226	109,780
負債純資産合計	147,017	143,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	68,358	69,691
売上原価	50,061	50,409
売上総利益	18,297	19,281
販売費及び一般管理費	11,345	12,069
営業利益	6,952	7,212
営業外収益		
受取利息	45	50
受取配当金	132	167
投資事業組合運用益	69	167
その他	390	356
営業外収益合計	638	742
営業外費用		
支払利息	65	65
売上割引	62	62
為替差損	-	64
その他	119	124
営業外費用合計	247	316
経常利益	7,343	7,638
特別利益		
事業譲渡益	1,381	-
特別利益合計	1,381	-
税金等調整前四半期純利益	8,724	7,638
法人税、住民税及び事業税	3,023	2,450
法人税等調整額	△15	170
法人税等合計	3,007	2,620
四半期純利益	5,716	5,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	419	408
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,297	4,608



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	5,716	5,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△508
繰延ヘッジ損益	6	10
為替換算調整勘定	△594	△481
退職給付に係る調整額	19	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	26
その他の包括利益合計	△241	△945
四半期包括利益	5,474	4,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,135	3,745
非支配株主に係る四半期包括利益	339	326

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,724	7,638
減価償却費	1,485	1,594
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△180	△148
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	43
受取利息及び受取配当金	△178	△218
支払利息	65	65
事業譲渡損益(△は益)	△1,381	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,203	4,180
たな卸資産の増減額(△は増加)	△896	484
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△144	△169
仕入債務の増減額(△は減少)	△407	△3,358
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△62	△1,459
その他	513	444
小計	9,763	9,117
利息及び配当金の受取額	189	234
利息の支払額	△75	△90
法人税等の支払額	△3,179	△2,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,697	6,487
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,982	△1,412
無形固定資産の取得による支出	△36	△161
投資有価証券の取得による支出	△204	△505
投資有価証券の売却による収入	277	721
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,782
事業譲渡による収入	3,001	-
その他	△144	536
投資活動によるキャッシュ・フロー	911	△2,603
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	464	△219
長期借入金の返済による支出	△100	△200
長期借入れによる収入	462	-
配当金の支払額	△1,239	△1,501
非支配株主への配当金の支払額	△313	△290
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△84
自己株式の売却による収入	112	-
リース債務の返済による支出	△27	△24
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644	△2,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,862	1,420
現金及び現金同等物の期首残高	23,772	35,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,634	36,640

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,874	14,752	17,731	68,358	—	68,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,416	1,174	—	2,590	△2,590	—
計	37,290	15,927	17,731	70,949	△2,590	68,358
セグメント利益	2,158	3,076	2,756	7,991	△1,039	6,952

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,039百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,040百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,024	15,428	17,238	69,691	—	69,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,301	1,224	—	2,526	△2,526	—
計	38,325	16,653	17,238	72,217	△2,526	69,691
セグメント利益	2,515	3,186	2,505	8,207	△994	7,212

(注) 1 セグメント利益の調整額△994百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△993百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

# 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結決算発表参考資料

平成 27 年 10 月 30 日  
**アイカ工業株式会社**  
 コード番号 4 2 0 6  
 東証・名証（市場第一部）

## 1. 第 2 四半期連結累計期間の業績推移

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前年 同四半期 増減率	営業利益	対前年 同四半期 増減率	経常利益	対前年 同四半期 増減率	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	対前年 同四半期 増減率
平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	44,054	4.9	4,606	14.1	4,716	14.5	2,733	16.0
平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	47,775	8.4	5,394	17.1	5,467	15.9	3,114	13.9
平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	66,398	39.0	6,502	20.5	6,691	22.4	3,645	17.1
平成 27 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	68,358	3.0	6,952	6.9	7,343	9.7	5,297	45.3
平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	69,691	1.9	7,212	3.8	7,638	4.0	4,608	△13.0
平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 (当初予想)	71,000	3.9	7,250	4.3	7,400	0.8	4,500	△15.0

## 2. 通期の業績推移と業績予想

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前 増減 率	営業利益	対前 増減 率	経常利益	対前 増減 率	親会社株主 に帰属する 当期純利益	対前 増減 率
平成 24 年 3 月期	95,071	6.6	10,564	13.8	10,771	14.0	5,986	10.5 %
平成 25 年 3 月期	101,353	6.6	12,069	14.2	12,640	17.3	7,633	27.5
平成 26 年 3 月期	141,096	39.2	14,527	20.4	14,748	16.7	8,221	7.7
平成 27 年 3 月期	143,843	1.9	15,181	4.5	15,885	7.7	10,137	23.3
平成 28 年 3 月期 (予想)	151,000	5.0	15,800	4.1	16,100	1.4	9,500	△6.3

※28 年 3 月期予想は平成 27 年 4 月 30 日公表値

## 3. セグメント別売上高

(単位：百万円未満切捨)

報告セグメント	平成 27 年 3 月 第 2 四半期連結累計期間			平成 28 年 3 月 第 2 四半期連結累計期間		
	売上高 (実績)	構成比	対前 同四半 増減 率	売上高 (実績)	構成比	対前 同四半 増減 率
化 成 品	35,874	52.5 %	8.8 %	37,024	53.1 %	3.2 %
建 装 材	14,752	21.6	5.5	15,428	22.1	4.6
住 器 建 材	17,731	25.9	3.7	17,238	24.8	△2.8
合 計	68,358	100.0	3.0	69,691	100.0	1.9